

2023年秋(8-10月)出発者向け
交換留学(授業履修型)

2024年春(1-3月)出発者についても同時募集中

2022年11月
国際プログラム推進課

ご注意

新型コロナウイルスによる渡航制限の影響について

本学では、日本の「外務省の定める危険情報および感染症危険情報においてレベル2未満となっていること」が留学条件です。

ただし、2021年度からレベル2と3の地域であっても学生が強い意志を持ち、保証人の承認を得て、複数の条件を満たす場合についてのみ、特例措置として留学を認めていました。現在、世界の感染症危険情報はレベル1ですが、今後レベルが上がる可能性を踏まえ、現在も同様に特例措置の条件を満たした場合に限り、留学を認めています。事前に条件をご確認ください。

＜特例措置のいくつかの条件＞

- ※原則、新型コロナワクチンの接種を3回完了していること。
- ※帰国後に、学業等へ影響を及ぼすような行動制限等が設けられていないこと。
- ※学生本人がプログラム参加への強い意志を持ち、保証人からの承諾が得られている こと。
- ※以下2種類の誓約書を提出できること。（現時点で内容を確認し、保証人からも同意を得てください）

誓約書①「海外留学プログラム渡航誓約書」

<https://www.shibaura-it.ac.jp/extra/studyabroad/pledge.pdf>

誓約書②「新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書」

<https://www.shibaura-it.ac.jp/albums/abm.php?d=4333&f=abm00020972.pdf&n=PLEDGE-COVID-19-2022-2.pdf>

（参考）外務省の定める危険情報および感染症危険情報レベル

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

募集説明資料の構成

① 交換留学について

- └ 交換留学の概要
- └ 交換留学を通じて得られるもの
- └ 交換留学に参加する前に抑えておくべきこと
- └ 参加学生の声

② 応募方法について

③ よくある質問について

④ 参考：学内審査通過後の手続き

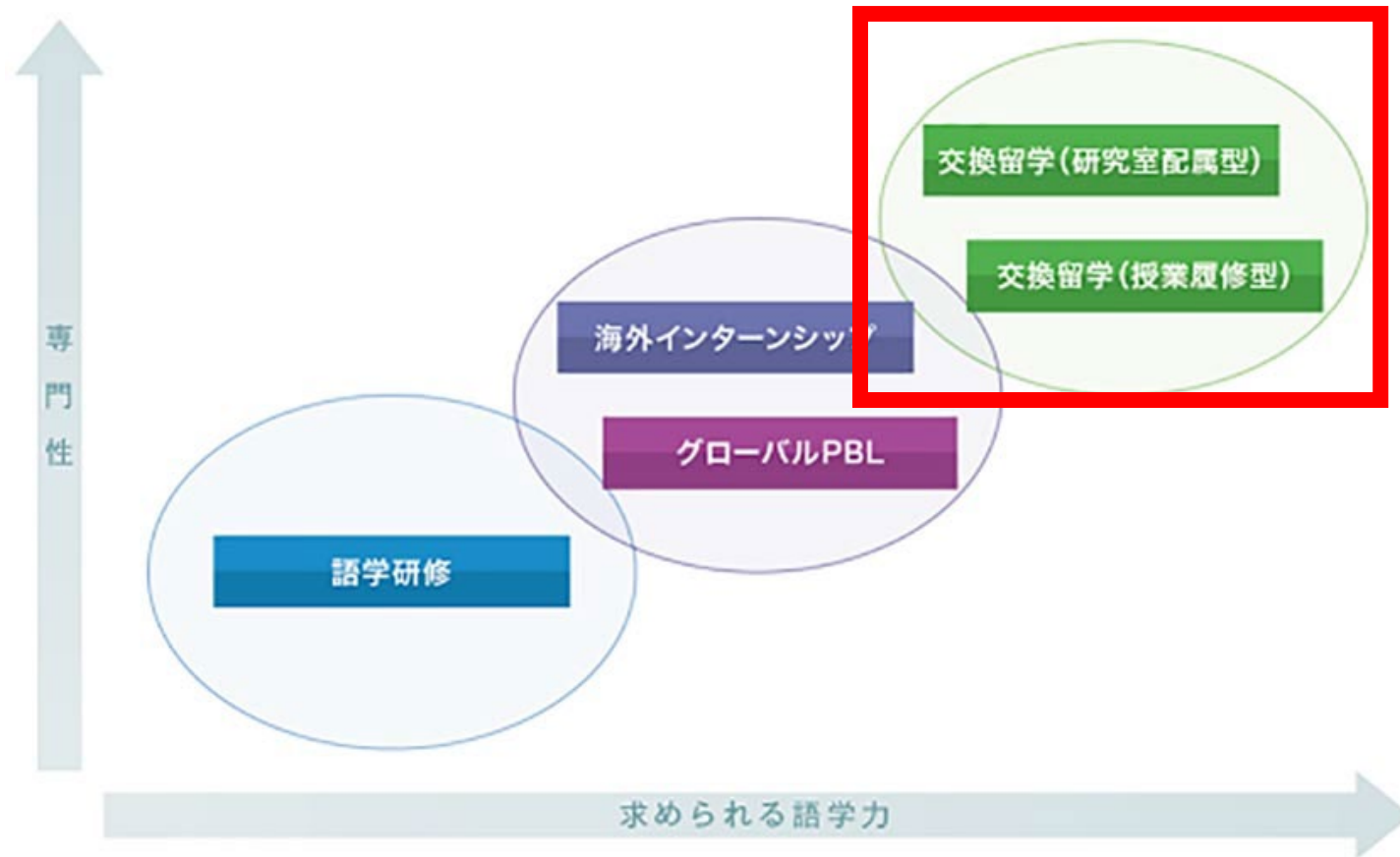
そもそも交換留学とは？

**交換留学とは一定以上の期間
海外に留学する長期プログラムです。**

**期間は3ヶ月～1年ぐらいが多く、
海外の大学で正規学生と同等に扱われながら在籍します。**

- 1) 授業履修型プログラム（海外協定校で専門科目を学ぶ）**
- 2) 研究室配属型プログラム（海外の大学で研究活動を行う）**

プログラムの位置づけ①



交換留学とは...

英語を学ぶプログラムではなく、英語でさらに専門領域を深める、**一定の語学力と専門性**が求められるプログラムです。

プログラムの位置づけ②

	授業履修型	研究室配属型
対象学生	原則として渡航時点で学部3年生以上	原則として渡航時点で学部4年生以上
渡航期間	原則1～2セメスター （協定校の学年暦に従う）	2週間程度～1年の間で任意に設定可能
出発時期	秋（8-9月）もしくは春（1-3月）が多い（協定校の学年暦に合わせて渡航）	随時（各自で調整したタイミングで渡航）
留学先の選び方	英語開講科目を提供する協定校から選ぶ。 ※交換留学（授業履修型）の対象校リストの中から諸条件（自分が留学する時期に履修希望科目が十分に開講されているか、協定校が定める出願資格（英語力や成績）を満たしているか等）を踏まえて選択。	下記2つの方法があります。 ①指導教員のコネクションを基に海外留学する。 （受入可能な海外の研究室を紹介してもらう） ②研究室配属型プログラムを提供する協定校から選ぶ。 国際部が協定校を紹介するが、学生自身が協定校にコンタクトをとり受入の依頼をする。 履歴書や研究計画書を入念に準備し、受入内諾を得られるようにアピールする必要があります。
申し込み	【応募期間】 春出発：5月中旬～7月中旬 <u>秋出発：11月11日（金）～1月15日（日）</u>	期間が任意で設定できるため、明確な応募期間はありません。興味を持った場合には、随時、国際部や指導教員の先生にご相談ください。 ※渡航する3～4ヶ月前頃には、海外の大学とプログラム期間について合意ができていることが望ましいです。

交換留学を支援する補助制度

1. **芝浦工業大学 海外留学奨学金**
協定校へ留学する学生を支援するもの
月額4万円～10万円を給付します。
2. **芝浦工業大学 授業料支援奨学金**
(通常、交換留学では留学先での授業料が免除されるが)
授業料がかかる協定校へ留学する場合に、所定の条件を
満たすことで授業料が補助されます。

本学以外にも奨学金支援している団体があります。

詳しくは下記URLを参考にしてください。

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

＜過去に本学学生が受け取っていた奨学金について＞
業務スーパージャパンドリーム奨学金、ウルカヌス奨学金

**交換留学を通じて
得られるもの**

コミュニケーション力

主体性

英語で専門分野を学ぶ
経験

海外の
友だち

多文化的な視点

問題解決能力

異文化
適応力

論理的思考力

忍耐力

第二の故郷

自立心/自律心

新しい自分

生きた
語学力

セルフマネジメント

計画立案/実行力

**交換留学に参加する前に
抑えておくべきこと**

その1 各種手続きは 学生主導で行う



語学研修やグローバルPBLなどの短期プログラムと異なり、交換留学プログラムでは、学内出願、協定校出願、ビザ申請などの各種手続きを、学生自身が主導的に行う必要があります。

留学先や大使館が相手の手続きは、怠ると留学ができなくなる場合があります！

留学先や大使館から案内がきたら放置せず
すぐ確認するようにしましょう(締め切りが
タイトな場合もあります)。

自分がいつまでに何をしなければいけない
のかをしっかり把握し、余裕をもって準備を進め
ましょう。

その2 交換留学生 としての心得

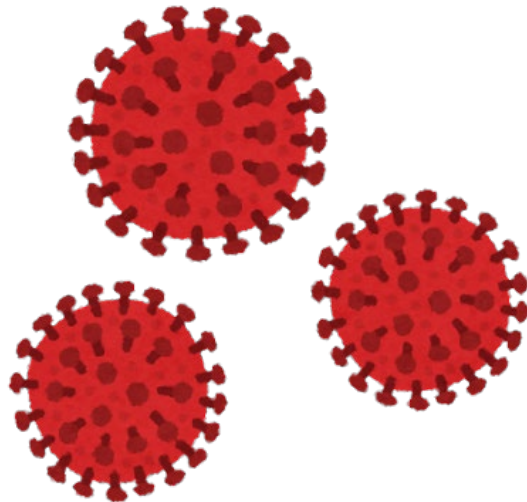


交換留学は本学と留学先の関係性で実現しています。「自分は芝浦工業大学を代表している」という自負を持ってください。

出願や渡航準備、渡航後も学内の案内等について留学先から連絡があるので、メール返信等、迅速に対応するようにしてください。

学生の言動が、今後の留学先との関係や後輩の留学に影響することもありますので、上記を十分に理解した上でご応募ください。

その3 新型コロナウイルス の影響について (渡航制限、追加書類、 自己隔離、等)



※今後の新型コロナウイルスの状況によっては、渡航の中止や延期、オンライン授業への切り替えを提案される可能性もあります。

渡航が認められる場合であっても、一定期間の自己隔離が必要であったり、健康状態に関わる証明書や、PCR検査の陰性証明書、ワクチン接種証明書を求められる可能性もあります。

参加学生の声

留学に行くまでは、私なんかが海外でやってけるかと不安に思っていました。 **実際に参加して後悔するようなことは全くありませんでした。**

学生期間が自分の時間を一番自由に使え、
いろんなことに挑戦できる時期です。

今後多国籍の人と関わりを築くなかで、色々な考え方や文化を知っているということは大いに役立つはずです。
留学を迷っている学生は是非挑戦してください。

交換留学は学生生活を送る今しか体験できないことなので、**一度だけでも参加することを強くおすすめします。**

正直コロナ渦での留学は大変でした。

でもだからといって怯えて留学を諦める必要はないと思います。留学に本気で行こうと思っていれば余程の事ではない限り実現可能です。

不安だったり手続きが面倒だったりしますが、それを**上回る価値**があると思います。

当初は英語力もないまま行くことにとても不安があったが、いざ留学してみると英語しか通じない環境になるため、**自然と英語が身につくようになった。**

行くか悩んでいるんだったら行くべきです！行ったらなんとかなります。

職員からのメッセージ

いかがでしたでしょうか。説明を通じて
少しでも交換留学プログラムに興味を持っただけなら幸いです。

社会人になると、中々海外への長期留学はできません。
また学生であれば奨学金の制度も充実しています。

もし、少しでも交換留学に興味があるのなら
「時間」と「金銭的サポートに恵まれた」今こそ、
思い切ってチャレンジしてみください。

交換留学は皆さんが今暮らす生活を離れるプログラムです。
当然辛いこと、厳しいことはあります。
ただ、だからこそ、その分成長にも繋がります。

これからの大学生活をどう過ごすかは、あなた次第です。
充実した、大きな成長に繋がる、記憶に残る体験をしたいのなら
交換留学はきっと一つの選択肢になると思います。

よろしければ、ご参加を検討ください。

興味を持ったよ！
という方へ

応募手続きについて

まずは全体像を確認しよう！

秋出発(今回の募集)のスケジュールの目安

2022年度	11月	募集資料を公開 国際部が公開する募集資料等を参考に学科教員とよく相談して留学計画を立てて下さい。
	11-1月	学内出願締切（2023年1月15日（日）） 協定校への出願に先立ち学内で審査を行います。まずは学内出願を行って下さい。 ■学内出願エントリーフォーム https://forms.gle/7QPKGKGnJDekgaso7 ■海外留学授業料支援奨学金申請フォーム【該当・申請する場合のみ】 https://forms.gle/dzDJuma36zUiZvsKA
	2月	学内審査の結果受領(2023年2月15日(水)まで) 学内審査の結果をお知らせします。学内審査で認められた協定校に対してのみ出願を行うことができます。 協定校出願手続きの説明会(2023年2月17日(金)17:00-18:00)
2023年度	3-5月	協定校出願 協定校出願以降の各種準備の進捗はフォームの入力を通じて国際部に報告してください。 ■進捗フォーム 学内出願の審査を通過された方に、国際部より連絡いたします。コロナ禍での渡航留学の際は特例措置としての留学条件を確認するため、提出を必須としています。今後のコロナ等の情勢によっては条件が変動する可能性もございます。
	6-8月	協定校審査の結果受領 協定校からの審査結果を確認してください。この結果により留学の可否が決まります。
	7月	渡航準備(ビザ申請など) ビザ申請、航空券手配等、実際に渡航するための準備を行います。
	8-10月	留学開始 協定校の授業開始に合わせて各自渡航します。 ■渡航中フォーム 国際部よりお送りします。留学中はこのフォームを使用します。

※2024年春渡航者についても今回学内出願の対象となります。学内審査の結果受領自体は2023秋渡航者と合わせて、2023年2月15日に実施いたしますが、それ以降の手続きについては2023年9月以降となります。

学内出願に必要な資格

・出願するには以下の出願資格をすべて満たしている必要があります。

1. 本学の学部または大学院の正規過程に在籍している学生であること

※原則として留学開始時に学部3年次以上の学生が対象です。

2. 留学後、本学にて学業を継続し学位を取得する意思があること

※留学期間中に卒業(修了)、退学、除籍の予定のある学生は要件を満たしません。なお学部生で、留学期間中に本学大学院へ進学する予定の場合は相談してください。

3. 成績基準および英語力基準を満たしていること

※出願時点における直近期および累積の成績評価係数が3.00ポイント満点中2.00以上でありかつTOEICスコア400以上であること。成績評価係数は成績通知書に記載されているGPA(4.00ポイント満点)とは異なります。算出方法は以下にて確認ください。なお成績基準と英語力基準を満たしていない場合も出願可能ですが、英語での質問を含む面接試験を行い適正を確認させていただく可能性があります。対象者には別途メールでお知らせします。

https://www.shibaura-it.ac.jp/global/overseas_program/scholarship.html

4. 留学希望の協定校に出願条件がある場合はその条件を満たしていること。あるいは協定校に出願する時までに満たせる見込みがあること。

※特に英語力や成績が重要になります。

5. 留学の実現に向けて自ら主体的に考え行動できる学生であること

※留学前後の学習・進路の計画(休学の要否の判断や就職活動や大学院進学への影響など)について自ら主体的に考えることができること。また各種手続き(協定校への出願、ビザ申請などの渡航手続き、学内諸手続)を自ら主体的に行えること。

6. 保証人の承諾を得られること

留学先の決め方は？

段階	詳細
(1) 候補 のリス トアッ プ	・「交換留学(授業履修型)対象校リスト」を参考にしてください。 https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/program/long_term.html このリストは、必要な英語力、開講分野、費用面の情報について、国際部が協定校にヒアリングした結果をまとめたものです。留学先候補をリストアップする際に参考にしてください。 ※ただし希望先を最終的に決める時には、協定校の公式ウェブサイトを必ず確認し、最新の公式情報を入手してください。 ※本リストと協定校の公式ウェブサイトの内容に相違があった場合は後者が正規情報となります。 ※協定校の公式ウェブサイトを確保することなしに留学希望先を決めることは絶対にしないでください。 ・体験談や協定校紹介コンテンツも参考にしてください。 https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/report.html
(2) 精査 と絞り 込み	リストアップした各協定校につき協定校公式ウェブサイトにて公式情報を確認して、絞り込みましょう。 その際に特に注意すべきポイントは主に以下の3点です。 ①出願資格 ・協定校が定める出願資格を満たしているか？特に語学力と学業成績は、協定校へ出願する時に証明書の提出を求められる場合があります(求められない場合もあります)。出願手続きについて記載されたページも一緒に確認し、必要な場合は、間に合うように証明書を用意してください。 ・その他の要件についても確認し協定校へ出願する時にスムーズに手続きできるよう準備しましょう。 ②授業科目の開講状況 ・自分が履修したい授業が自分の留学期に開講されているか、科目リストやシラバスで確認してください。 ・また履修科目は原則として教員と相談して決めて下さい。 ・開講予定の科目であっても協定校の事情で開講されなくなることもあります。履修計画には幅を持たせておくことをお勧めします。 ・履修科目数の上限や下限が設けられていることもありますので、よく確認しましょう。 ③協定校に支払う費用について ・授業料(Tuition fee)については多くの協定校で免除になりますが、その他の費用として「Registration fee」「Facility fee」「Student Service fee」等が発生するのが一般的です。円換算で1～5万円程度であることが一般的ですが、米国の場合は高額な場合もあります。協定校ウェブサイトによく確認してください。

お役立ちサイト

グローバル Global

本学の取り組み

学長メッセージ
グローバル化の歩み
実績
海外協定締結校
推進プロジェクト

海外派遣プログラム（オンライン含む）

海外派遣プログラム概要
プログラム紹介
語学研修
グローバルPBL
海外インターンシップ
交換留学
協定校等主催プログラム
留学時に利用できる奨学金
海外協定校情報・留学体験談等
留学時の注意
教職員の海外派遣実績

海外派遣プログラム（オンライン含む）

海外派遣プログラム概要

プログラム紹介

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学

協定校等主催プログラム

留学時に利用できる奨学金

海外協定校情報・留学体験談等

留学時の注意

教職員の海外派遣実績

お役立ちサイト(交換留学ページ内)



面談の方法

国際部では随時希望者と面談を行っています。

興味がある方は下記からお申し込みください。担当者とZOOMで面談を行えます。

(本学アカウントからアクセスしてください。)

<https://forms.gle/yA9ybwVYfxZ8JGAcA> 



申し込み方法

通常、秋出発向けは11～1月、春出発向けは前年5～7月頃に応募を受け付けています。

説明会資料、対象校リストから興味のある大学を調べて、エントリーください。

説明会資料ご確認後は、交換留学（授業履修型）対象校リストから興味のある大学を調べてみてください。

また関連リンクでは、協定校の詳細情報や学生体験談をまとめています。



募集説明

- 2023年秋渡航プログラムの募集説明会は、2022/11/9（水）に実施します。

【説明会Zoomリンク】

<https://shibaura-it.zoom.us/j/94117356330>

※学内のアカウントからアクセスしてください。



交換留学（授業履修型）対象校リスト

- [交換留学（授業履修型）対象校リスト_202210.xlsx](#) 

よくあるご質問

留学費用はどのくらいかかりますか？

・交換留学プログラムの費用は渡航先や渡航期間によって様々なため一概にいくらとはいえません。以下に主な費用項目を記載しますので参考にして各自で資金計画を立ててください。

※「交換留学(授業履修型)受入校リストや」、学生体験談も参考にしてください。

協定校へ払う費用	・授業料(Tuition fee)については多くの協定校で免除になりますが、主に米国やオーストラリアの協定校の中には授業料がかかる場合がありますのでご注意ください。 ・授業料が免除となる場合でも、「Registration fee」「Facility fee」「Student Service fee」等が発生するのが一般的です。1～5万円程度であることが一般的ですが高額な場合もありますので、よく確認してください。
渡航費(主に航空券代)	航空会社、行き先、直行便/経路便の別、時期や時間帯により様々です。利便性をとるか、費用を優先するかで決めて下さい。 ※航空券など多額の費用がかかる準備は、できるだけ状況が確かになってから購入することとし、また購入する場合も、不確実性に備えるため、変更可能のオプションがついているものを購入することをお勧めいたします。また、できるだけ経路便ではなく、直行便で渡航することをお勧めします。(経路便にすると、経路地の国・地域の危険レベルにも左右されてしまうことになり、不確実性が増すため。)
海外旅行保険	大学指定の保険に必ず加入いただきます。 費用は6ヶ月の場合約9万円、12ヶ月の場合約18万円です。 ただし、協定校からの指示や、留学先国のビザ取得要件によっては、別途指定される保険への加入を求められることもあります。欧米の一部の大学では年間50万円以上するような高額な保険への加入が必要な場合があります。詳細は保険についてのQ&Aを確認してください。
住居費用・生活費	住居は、協定校の寮もしくは民間の宿泊施設を利用します。住居の手配は協定校がサポートしてくれることが多いです。また、その他、食費、日用品費、通信費など生活していく上で必要な費用がかかります。
諸手続費用	語学能力試験受験料、パスポートやビザ取得に関わる費用、予防接種のための費用、海外送金に関わる費用など。

※留学先大学への出願手続きやビザ取得の手続きの際、「金融機関の残高証明書」を求められることがあります。詳しくはビザ申請の解説ページにて確認してください。

利用可能な奨学金制度はありますか？

本学の奨学金制度としては以下2点があります。

(1) 芝浦工業大学海外留学奨学金

正規課程在籍の日本人学生であれば全員が対象となる奨学金制度です(留学生の場合でも正規学生であれば、普段利用している奨学金との併用条件を満たせば対象となる場合があります)

月額4万円～10万円(渡航先の国・地域や成績により金額は異なります)を渡航月数に渡り支給します。

詳しくはウェブサイトをご確認ください。

https://www.shibaura-it.ac.jp/global/overseas_program/scholarship.html

★本奨学金は、留学申請と同時に申込みをしたことになりますので、別途手続きは不要です。

★後日、協定校からの受入許可書(LOA)を受領後、LOAに記載されたプログラム期間により支給月数を計算し支給月額と共にお知らせします。

(2) 芝浦工業大学海外留学授業料支援奨学金

協定により授業料が免除とならない海外協定校に留学する場合には、本学に支払う学費に加え、協定校に授業料およびその他の費用(施設利用料や登録料など)を支払う必要がありますが、優秀な学生が休学を伴わずにこれらの協定校に留学する場合は、協定校に支払う授業料(施設利用料や登録料などその他の費用は除く)を上限に奨学金を支給します。申請資格等は以下のURLにより確認してください。

★申請する場合、学内出願の期日までに以下URLより申請してください。

★英語スコア証明書や教員の推薦書も必要ですので、余裕をもって準備してください。

<https://forms.gle/1XXZc9Xu3Djd9ZSX6>

Q:その他の奨学金制度はありますか？

・企業、財団、地方自治体などが、長期留学する学生を支援するために奨学金制度を設けている場合があります。各自で情報収集してお申込み下さい。

※学外奨学金額の月額換算額が、「芝浦工業大学海外留学奨学金」の奨学金月額を超過する場合、「芝浦工業大学海外留学奨学金」は支給されませんので、採択された場合は国際部に詳細を報告してください。

海外旅行保険について

Q:本学指定の保険はどのような内容ですか？

・本学では、海外における提携病院数が充実しているAIG海外旅行保険を採用しています。

主な保証項目は以下のとおりです。

費用は6ヶ月の場合約9万円、12ヶ月の場合約18万円です。(渡航年度により変動しますので加入時に確認してください。)

・加えて、24時間365日日本語対応可能な安心サポートデスクにも合わせて加入いただきます。

安心サポートデスクでは、「体調が悪いので病院を紹介してほしい」「パスポートを紛失してしまったがどうすればよいか」「ATMからキャッシュカードが出てこなくなった」等あらゆる問い合わせに対応します。

補償項目	保険金額	補償概要
傷害死亡	2,000万円	渡航中に事故によるケガが原因で死亡した場合
傷害後遺障害	2,000万円	渡航中に事故によるケガが原因で身体に後遺障害が生じた場合
治療・救援費用	無制限	渡航中にケガや病気で治療を受けた場合の治療費や、3日以上入院した場合に日本から親族が現地に駆け付けた際の費用を補償。 ※2023年度の留学条件のひとつとして、治療・救援費用が無制限のものに加入いただきます。
疾病死亡	1,000万円	渡航中に病気が原因で死亡した場合
個人賠償責任	1億円	渡航中に他人にケガをさせたり、お店の品物を壊して賠償責任を負った場合等
携行品損害	10万円	渡航中に携行したパソコン等を盗まれたり、落下させ破損した場合等
航空機寄託手荷物遅延	10万円	航空機搭乗時、預けた手荷物が到着後6時間以内に目的地に運搬されなかった場合
航空機遅延	2万円	悪天候や機体の異常などの理由で、搭乗予定の航空機が6時間以上遅延したり、欠航・運休となった場合

Q:ビザを取得するにあたって大使館が指定する保険に加入するように言われました。どうすればよいですか？

・その場合、その保険に加入してください。ただし、その保証内容が本学が指定する保険(および危機管理サービス)の保証内容を満たしていない場合は、本学指定の保険(および危機管理サービス)にも加入いただきます。

その他のよくあるご質問

Q:出願すれば必ず希望の留学先に留学できるのですか？

・学内審査と協定校審査の両方にパスする必要がありますので、必ずしも希望の留学先に留学できるとは限りません。学内審査では本学を代表する留学生として相応しいか審査を行います。また各協定校の受入枠数を超えて希望が集中した場合には成績や英語力を基に出願者を決定いたします。第2希望以下での承認となる可能性もありますのでご承知おきください。

・協定校出願は、学内審査で出願を認めれた協定校に対してのみ行うことができます。出願後に協定校が定める基準に従って協定校が審査を行います。ただし、協定校審査を通過しても留学が確定したわけではありません。コロナ禍での特例での留学となるため、別途学内で渡航審査を行います。

Q:協定校が求める受入基準(語学力等)はいつまでに満たせばよいのですか？

・学内審査の時点でまだ満たしていない場合であっても「満たせる見込みである」と申告すれば出願することができますが、原則として協定校へ出願する時点において満たしている必要があります。

・ReadingやListeningだけでなく、4技能の能力が求められことも少なくありません。留学先から受け入れてもらうだけでなく、渡航後の生活を楽しむためにも、今から英語力を鍛えておきましょう。

Q:留学時期を迷っています。秋留学と春留学の違いは何かありますか？

・大きな違いはないので、ご自身の学修計画(履修単位数や必修科目との調整など)に合わせて下さい。ただし、海外の大学では8-9月の秋学期から新学期が始まるのが一般的です。そのため、1-3月(春学期)出発の場合は、現地における2学期目から中途参加する形になるため、現地でとれる授業がやや難度の高いもの(応用編)であることが多いようです。

その他のよくあるご質問

Q: 奨学金はいつ頃入金されますか？

・プログラム期間の間、毎月、月末に登録口座に振り込まれます。月末が祝日等の場合は、前営業日を目途に振り込まれます。口座の登録方法等は学内審査後の手続き説明会でご説明します。

Q: どういう科目を履修すればよいですか？

・履修する科目は皆さん次第です。但し単位互換などを希望する場合には、事前にクラス担任や指導教員の先生にご相談ください。

Q: 必ず休学が必要ですか？

・休学なしで留学できるかどうかは学生それぞれの状況によって異なります。所属学科(大学院の場合は専攻)のカリキュラム上可能かどうか(留学期間中の必修科目の取り扱い、留学先で取得した単位の取り扱い、進級要件、卒業要件など)をしっかりと確認してください。その他、単位取得状況、就職活動や大学院進学への影響(スケジュールを両立できるかどうか)等も考慮する必要もあります。また、留学にはリスクや不確実性(留学先で単位を取得できない可能性や、様々な理由で留学を途中中断して帰国せざるをえない場合等)が伴いますので総合的に判断してください。なお、休学する場合の手続きは、学生課もしくは大学院課で別途行ってください。

Q: 2セメスター以上留学したいのですが、どうすればいいのでしょうか？

・協定校の多くが受け入れる学生の定員を設けています。仮に2セメスター以上留学したい場合でも、留学を希望する方全員の希望に最大限沿うために、2セメスター分の審議を一度に行うことはしません。1セメスターずつ定員残枠数を基に審議をしていくこととなります。2セメスター目に1セメスター目と同じ留学先で、留学が継続できない可能性もあります。あらかじめご承知おきください。

参考：協定校出願以降のプロセス

学内審査終了後に
改めて説明いたしますが
興味ある方は以下からご確認ください。

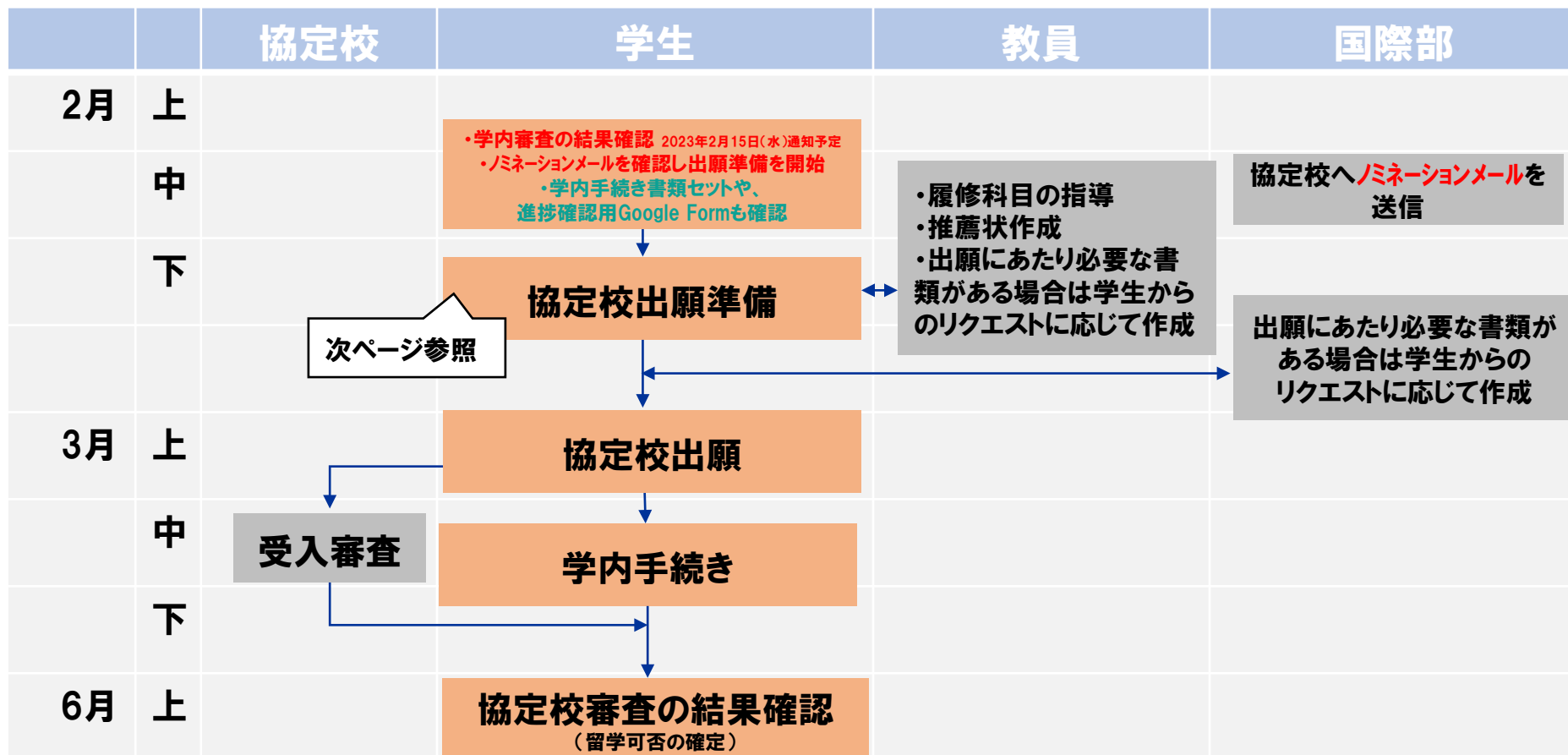
協定校出願の流れは？

★学内審査結果のお知らせ後、1週間以内を目安に国際部から協定校にノミネーションメールを送信します。

・ノミネーションメールとは、「この学生がSITを代表する交換留学生として、正式に貴校に出願することになりましたので、どうぞよろしくお願いします」という趣旨のメールです。その際、学生と教員にもCCしますので必ず確認してください。一般的にこのメールに返信される形で協定校から出願手続き案内があります。

→あとは、その案内にそって、学生自らが主体的に手続きを進めてください。

・また、このタイミングで、学内手続き用の書類セットや、進捗確認用Google FormのURLもお知らせします。



スケジュール例

※協定校によって異なります

協定校出願の注意事項は？

協定校出願準備

協定校出願

→まずは出願期日を確認し、進捗確認用Google Formに記入しましょう。
その後、準備状況についても、適宜記入してください。出願が完了したら報告してください。

※協定校出願は学生各自で行っていただきます。

※必要書類、出願方法、提出期日などは協定校によって異なりますので、協定校のWebサイト等で確認してください。

※手続きを怠った場合は留学できなくなる可能性もありますのでしっかり行いましょう。

※申請は一度で受理されるとは限らず、修正を求められる場合もありますので早めに行いましょう。

※年度によって必要書類や出願方法が変わる場合もあります。先輩の話を鵜呑みにせず必ず自分で調べましょう。

・協定校から「成績証明書」や「語学力を証明する書類」をこの時点で求められる場合があります。事前に要不要を確認しておき、提出が必要な場合は、間に合うように試験を受験して必要なスコアを得ておく必要があります。

・教職員が作成・サインをしなければならない書類がある場合は早めに相談してください。

※履修登録書や推薦状などアカデミックな内容を含むものは学科教員に依頼してください。

※単なるノミネーション関係の書類などは、国際部に依頼してください。

※在籍証明書や成績証明書は、証明書自動発行機(パピルスメイト)で購入してください。

(通学する機会がない場合は、学生課に連絡して発行を依頼してください。)

・宿泊施設についても、この時点で協定校に依頼できることがありますので、よく確認しましょう。

協定校審査の結果確認

(留学可否の確定)

・合格の場合、1ヶ月程度で受入許可書が発行されます。(LOA: Letter of Acceptanceと呼ばれることが多い)

・LOAはビザ申請にも必要となることが多い書類ですので、大切に保管してください。

・LOAが発行されたらコピーを国際部に提出してください。(進捗確認Google Form提出)

→国際部では、LOA記載の留学期間に基づいて芝浦工業大学海外留学奨学金の支給期間を仮で計算して、支給予定月数をお知らせします。

学内手続き

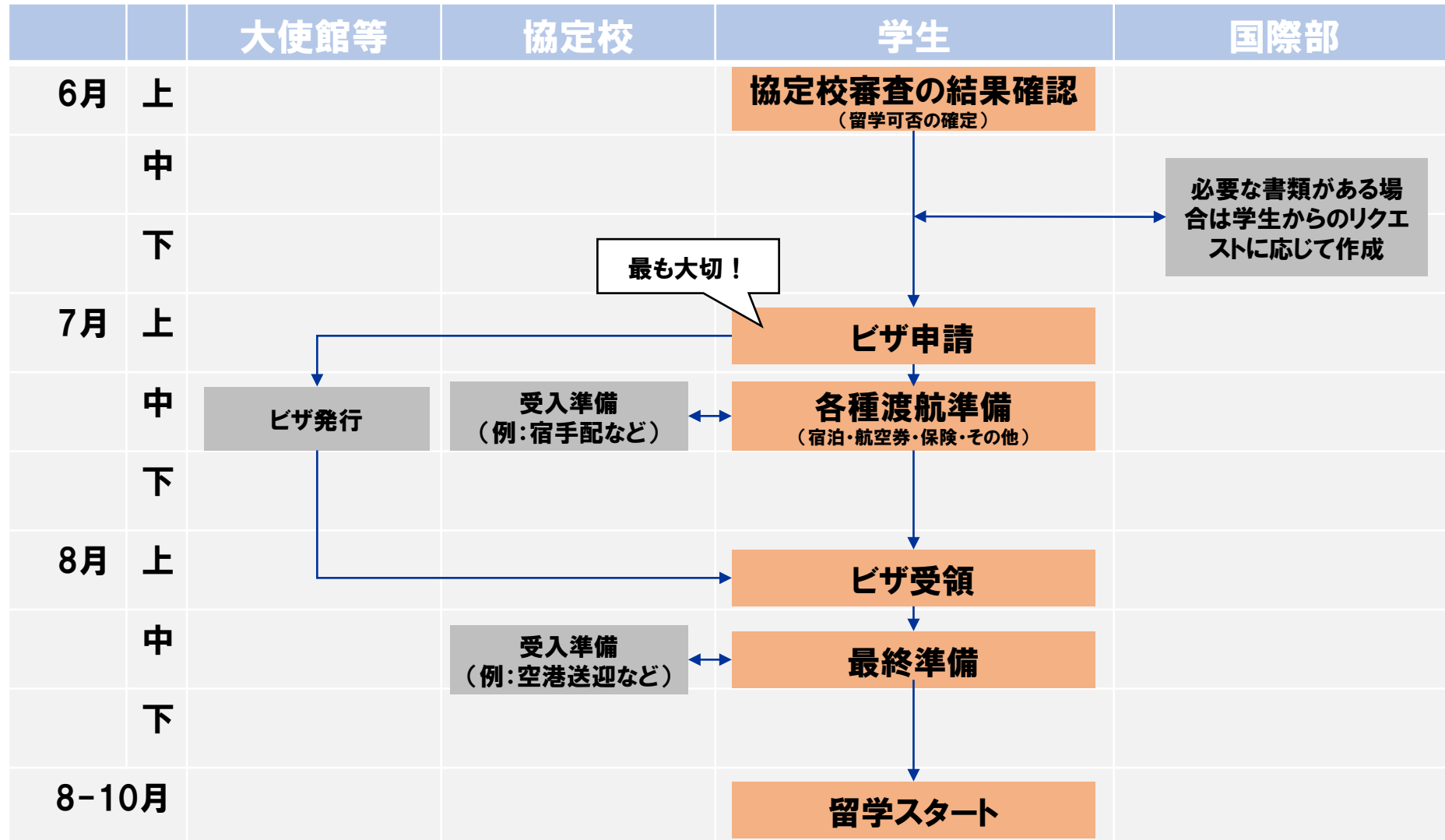
協定校出願が一段落したら、学内手続きも進めてください。
詳細は、学内審査通過後にご案内しますが、以下の手続きがある予定です。

- ・「海外留学プログラム渡航誓約書」の提出
- ・奨学金受け取り金融機関口座の登録
- ・JASSO家計基準アンケートの回答

※進捗確認用Google Formにて提出していただきます。

渡航準備の流れは？

スケジュール例



渡航準備の注意事項は？

ビザ申請

→進捗報告Google Formで、適宜状況を記入してください。

※ビザ申請も学生各自で行っていただきます。

※ビザが必要かどうか、必要な場合に用意すべき書類は何か、どうやって申請するか、申請から受理までにどのくらい時間がかかるか、などは国や渡航期間によって異なりますので、各自で確認して手続きを進めてください。

※手続きを怠った場合は留学できなくなる可能性もありますのでしっかり行いましょう。

※申請は一度で受理されるとは限らず、修正を求められる場合もありますので早めに行いましょう。

※年度によって必要書類や出願方法が変わる場合もあります。先輩の話を鵜呑みにせず必ず自分で調べましょう。

・ビザ申請は他の準備にも影響するため、すべての準備の中心軸に据えて進めましょう。

・ビザ申請に必要な書類の一例としては、

①パスポート

②協定校からの受入許可書(LOA)

③海外旅行保険の加入証明書

④本学発行の推薦書

⑤十分な留学資金をもっていることの証明書(銀行残高の証明書や奨学金受給証明書)

など準備に時間がかかるものも含まれていることもあります。

バイト等せず学業に専念できるだけの資金があることを証明してほしい、という趣旨でまとめた資金を持っていることの証明を求められることがあります。たとえば、「1ヶ月2,000ユーロ×渡航月数分」など、円換算で100万円以上の残高証明書を求められる場合もあります。大使館ページなどで確認できますので、金融機関にて英文残高証明書を発行してもらってください。

※他にも、戸籍の英訳などが必要な場合もあります。

(役所等で英文証明書が発行されない場合は、公的書類の英訳サービス会社等を利用してください。)

※他にも国によって様々な書類が求められる可能性があります。基本的には協定校からの受入許可書(LOA)と共に手続きの案内がありますので、指示に従って準備を進めてください。大使館のホームページ等にも情報があります。

※新型コロナウイルス流行のため、健康等に関する証明書を求められる可能性もあります。

・協定校出願時と同様、教職員が作成すべき書類やサインすべき書類がある場合は早めに相談してください。

渡航準備の注意事項は？

各種渡航準備

(宿泊・航空券・保険・その他)

ビザ申請と並行して、宿泊先、航空券、保険等、実際に渡航するための準備をしましょう。
→[こちら](#)も進捗報告Google Formで、適宜状況を記入してください。

【保険】

本学指定の保険に加入いただきます。加入案内は[進捗報告Google Form](#)からダウンロードできます。国によってはビザ申請時に保険の加入証明書を求められます。その場合は早めに加入してください。なお、保険は、渡航日が決まっていなくても、渡航日前であれば無料で期間変更が可能ですので、仮の日程で購入することも可能です。

・海外旅行保険は、出発日(空港に向かうために日本の自宅を出発する日)から、帰国予定日(日本の自宅に帰る日)までをカバーしていることを確認してください。

・[保険の加入状況についても進捗報告Google Formで報告してください。](#)

【宿泊先】

一般的には出願時か受入許可受領後に協定校に宿泊の手配を依頼できることが多いですが、協定校から案内がない場合も、まずは協定校に相談してみましょう。宿泊先を自分で手配することは難しいと思いますので、協定校に頼れるなら頼りましょう。

★**新型コロナウイルス対応として、健康状態に関する証明書、PCR検査陰性証明など求められる可能性があります。早めに確認して準備してください。**

・[宿泊先についても、進捗報告Google Formで報告してください。](#)

【航空券】

原則としてビザが発行されてから購入してください(ビザが発行されず、予定日に出発できない可能性があるため)。

※ただし国によっては、ビザ申請時に往復航空券のEチケットコピー等を求められる場合もあります。

その場合は早めにスケジュールを確定させるか、変更可能な航空券を購入し対応してください。

※現地到着日は、協定校からの案内文書をよく読んで決めてください。通常、協定校が推奨する到着日が定められています。

※近年、疫病、テロ、政変など、留学を打ち切って途中帰国せざるをえないような事案の発生頻度が高まっていますので、帰国便をなるべく安価に変更可能なチケットを購入することを推奨します。

(例・2019年度の新型コロナウイルス流行時には、欧州の一部プログラムで途中帰国が発生しました。)

・[航空券を購入したら、進捗報告Google FormにEチケットのコピーをアップロードしてください。](#)

【銀行口座・通信手段】

金融や通信のサービスは日進月歩で進化していますので、ご自身のニーズに合致するサービスを利用しましょう。

渡航準備の注意事項は？

ビザ受領

- ・取得できたら進捗報告Google Formで報告してください。

最終準備

- ・現地空港から大学や宿泊先までの道のりなどを確認する等、渡航前の最終調整を行ってください
→行程が決まったら進捗報告Google Formで報告してください。